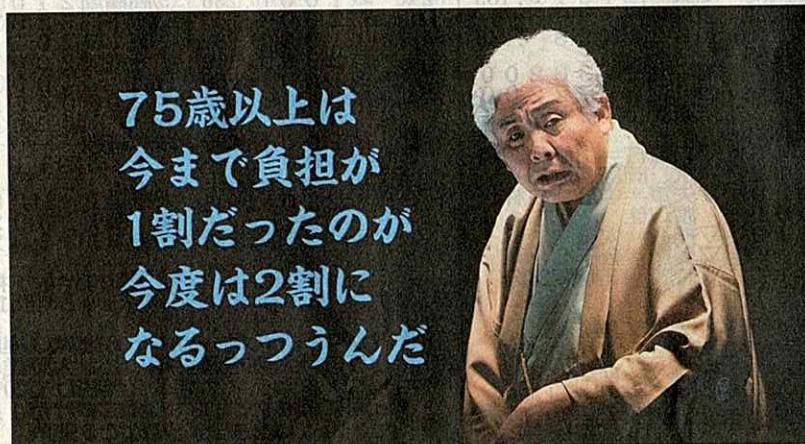


# 健保の現状テーマに新作落語



75歳以上は  
今まで負担が  
1割だったのが  
今度は2割に  
なるつづうんだ

## 「前向きな理解を」柳家喬太郎さん動画公開

企業の健康保険組合で組織する健康保険組合連合会（健保連）は、健保の現状を理解してもらおうと、落語家の柳家喬太郎さんが出演する「健保寄席」（全2席）を特設サイトと健保連の公式YouTubeチャンネルで公開している。いま最もチケットが取りにくいといわれる喬太郎さんによる「酒と恩返し」と「はあちゃんじスマホ」の新作落語動画2本を制作し、初披露。一定の収入がある75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げることと、かかりつけ医とオンライン診療の必要性について軽妙な語り口で説き、「前向きな理解を求める内容だ。健保財政や医療費の節約といったテーマ

を分かりやすく伝えるため、テロップもつけた＝写真。

喬太郎さんは「健保連さんのお伝えになりたい情報をお、きちんとお伝えしなければならない。気を使つたのは、私が健保連の手先に見えちゃいけないというこど。こいつ健保連の手先だなど思われた瞬間に、お客様の気持ちに入り込めないんですよ。届かないんですけど。そこを届いてもらうために、話の作り方、演じ方を工夫しながら、芸人としての立ち位置をどこに置くかというのが、実は一番の苦労だったかもしれません」と振り返った。

特設サイトのアドレスは <https://www.kenpoyose.com/>